



◆生育状況について

現在の生育は、昨年より4日程度遅れている。気温が上がると、一気に生育が早まるため、間に合うよう作業を進める。

また、芽かきの不徹底・誘引作業の遅れている園が散見されますので速やかに作業を行うこと。

1. JA管内 生育

品種	ナガノパープル			シャインマスカット		
ステージ	発芽	開花	満開	発芽	開花	満開
平年	4 / 24	6 / 1	6 / 8	4 / 26	6 / 7	6 / 11
令和7年	4 / 20			4 / 22		
令和6年	4 / 17	5 / 25	6 / 2	4 / 20	6 / 1	6 / 5

◆当面する重点作業

- 開花～袋掛けまでの期間は果実感染最重要防除期である。散布間隔を10日以上空けないようにし散布予定日前後に降雨がある場合は必ず降雨前に散布する。
また小雨の場合は、雨の中でも散布を行い、病気の感染を防ぐ。
- 強風で新梢が欠損した箇所は、誘引し直し空間を埋める。
- 品種ごと満開までに段切りと摘心が終了するよう、適期に作業をすすめる。
- キャップの飛びが悪い場合は灰色かび病やサビ果となるので、花カスを取り除く。
- 種なしぶどうでは摘房・摘粒を遅れないように実施し、2回目のジベレリン処理までに終了させる。尚、2回目のジベレリン処理終了後速やかに袋掛け（最大の防除）を実施する。
- ナガノパープルは、裂果防止のため、適正着粒と適正肥大とする。
- シャインマスカットの着粒過多は味が悪くなるため着粒数を守ること（35粒）。
- 赤系ぶどうは着粒過多は着色不足となりやすいため他品種以上に着粒数を守ること。
- 雨が少ない場合は、定期的なかん水を行い、初期肥大を促す。
- 種あり巨峰は、各園地の着粒状況を確認し、実止まり確認後早急に摘房・摘粒の作業を行う。
また、ドブづるや棚下の枝等の切除を行う。
尚、棚下の枝の切除量が多い場合は、一度に行うのではなく2～3回に分けて行う。

◆第7回（落花直後）の薬剤散布について

- 散布時期：落花直後（房作りした房が80%程度咲き終わった時を落花とみる。）
前回散布から12日後を目安に実施する。
品種によって生育が異なるので、生育に合わせて実施する。

- 調合量：水1000当り ※混用順に記載。 散布日 月 日

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10ml	—	—
ⓅパダンSG水溶剤	66g	スカシバ類	21日
Ⓟカナメフロアブル	25ml	黒とう病・うどんこ病・灰色かび病	前日
Ⓟアドマイヤー顆粒水和剤	10g	スリップス類	21日
ペンコゼブ水和剤	100g	べと病・晩腐病	45日

- 散布量：10a当たり⇒3500以上

4. 留意事項

- ①パダン SG 水溶剤は、根本・主幹・主枝にたっぷりかけるようにする。
- ②べと病が発生した園では棚上散布も実施し、防除間隔を開けないこと。
- ③果房に被害を与える病害虫の重要な初期防除となるので、花冠(花カス)離れの悪い園は特に丁寧な散布を行う。
- ④カナメフロアブルに代えてパレード 15 フロアブル 2,000 倍（水 100ℓ当たり 50ml）で使用してもよい。
- ⑤ペンコゼブ水和剤に代えて、ゾーバックユニベル顆粒水和剤 750 倍（水 100ℓ当たり 133 g）を使用してもよい。ただし、農薬汚れしやすいので、注意する。

◆べと病対策の徹底について

降雨が続く場合は要注意。散布間隔は通常でも 14 日以内、降雨が続く場合は 10 日以内の散布に努める。散布間隔が空き過ぎないように注意する。

◆定期的なかん水について

1. 晴天が 7 日続いたら 20～30 ミリ程度のかん水を行う。（砂を含む土は 4 日）
※10a に 1 ミリのかん水をするには、水 1,000ℓが必要。樹冠下に行く。
2. 種あり巨峰の場合は、開花前から開花中でのかん水は控える。
3. 種なし品種の場合は、シャインマスカット以外の品種は、開花前～第 1 回ジベレリン処理の間は、定期的に灌水し、土壌水分を一定に保つ。シャインマスカットは、たっぷりの灌水を抑える。
第 1 回ジベレリン処理時に乾燥している場合は、効果をあげるため、処理後にかん水を行う。（湿度をあげる）。

◆枯死の原因について

成木になると枯死してしまう事例が多くなっています。下記の内容について注意する。

1. クビアカスカシバの被害にあっている。地際部や主枝をよく観察する。粗皮剥ぎ・根元の草刈り実施。
新梢の樹勢が朝のうちから弱い場合は、元の幹を観察する。発見次第、早期に処理を行う。
2. 貯蔵養分不足による凍害：軽い場合は着房制限を行い樹勢回復に努める。被害が大きい場合は、改植する。
3. 幼木時の着果過多：主枝以外の所への着房・早期に着荷負荷（新梢 4 本に 1 本は空枝が基本）をかけた分、根とのバランスが悪くなり枯死しやすい。
4. 幼木時の主幹・主枝延長時の無理なひねり：数年後に枯死になる場合がある。
5. 管理不足：かん水不足・摘心不足・土づくり不徹底・病害虫被害・除草不足など

◆種なしぶどう 1 回目ジベレリン処理について

1. 処理時期・・・満開時(果房の先端まで全ての花が咲いた時)から満開 3 日後まで
但し、ナガノパープルは満開時から満開 2 日後
2. 処理方法・・・品種によって処理濃度が違うので注意
3. 種子の混入を防ぐため必ず処理時期は厳守してください。

品 種	処 理 濃 度	備 考
種無し巨峰	<u>ジベレリン 25 p p m + フルメット 5 p p m</u> 水 2 l に ジベレリン錠剤 2 錠 (50mg) + フルメット 1 本 (10ml)	1 つの 房に対し 1 回花房 浸漬処理
ピオーネ	<u>ジベレリン 12.5 p p m</u> 水 2 l に ジベレリン錠剤 1 錠 (25mg)	
ナガノパープル シャインマスカット クイーンニーナ クイーンルージュ®	<u>ジベレリン 25 p p m</u> 水 2 l に ジベレリン錠剤 2 錠 (50mg)	

※若木や結実が不安定な場合は、フルメット 5 p p m 以内で加用する。

水 2 l にフルメット 1 本 (10ml) で 5 p p m

ただし、着粒過多になりやすい場合は、2.5 p p m で使用する。

4. 留意事項

- ①花冠（キャップ）が残っているとサビになりやすいので、処理前にしっかりこすり落とす。（特にナガノパープル）
- ②生育が揃わない場合は 2 回に分けて処理する。
開花が遅く処理ができなかった房は、3 回目の処理ではなく摘房し空枝とする
- ③処理が早いと小粒果（ショットベリー）の増加、穂軸の硬化・湾曲などが発生する。
- ④処理後は、棚や主枝を揺すり薬液を落とす。
- ⑤降雨による再処理は 1 回だけ認められている。心配な場合は技術員へ相談下さい。
- ⑥ジベ処理前日までにかん水を行う。また、高温時のジベ処理は、効果が劣るので涼しい早朝から行う。

◆種なしぶどうの 2 回目ジベレリン処理について

1. 処理時期：満開10日から15日後（果粒横径9mm 時が目安）
2. 処理方法

品 種	処 理 濃 度	備 考
種なし巨峰・シャインマスカット ピオーネ・ナガノパープル クイーンニーナ・クイーンルージュ® サニールージュ	<u>ジベレリン水溶剤 25 p p m</u> 水 1 l に ジベレリン錠剤 1 錠 (25mg)	1 つの房に対 し 1 回花房浸 漬処理

3. 留意事項

- ①生育が揃わない場合は 2 回に分けて処理する。
- ②処理後は、棚や主枝を揺すり薬液を落とす。
- ③降雨による再処理は 1 回だけ認められている。心配な場合は技術員へ相談下さい。
- ④ジベ処理前日までにかん水を行う。また、高温時のジベ処理は、効果が劣るので午前中の涼しい時に行う。

⑤ナガノパープルで毎年大粒になり裂果が心配される樹では、満開後10日頃の処理を目安とする。

⑥2回目のジベレリン処理では全品種フルメット液剤は、絶対に使用しない。

◆種無しぶどうの軸長と着粒数の基準（目安）について

適正な房作りを行うため、軸長調整と摘粒の徹底をして下さい。

品種別基準（第2回目ジベ処理前）※着粒数の多い大房は売れません！！おいしくありません！！

品種名等	軸長 c m	段数	粒数
無核巨峰	7	14段前後	35粒
ナガノパープル	7	13段前後	30～35粒
ピオーネ	6	10～12段前後	30粒
シャインマスカット	7	13～15段前後	35粒 若木40粒
クイーンニーナ	7	13～14段前後	30粒
クイーンルージュ®	7	12～14段前後	35粒（以下）

(ア) 摘粒以降も1cm程度伸長する。軸長の調整が重要。大房にしない。

(イ) 段と段の間が空いているものは、段数と粒数を確保する。

(ウ) 基本は切り下げで軸長を7cm以下とし、残す支梗が平らになる所から下を使う。ただし、房尻が貧弱な場合や房尻の粒の間隔が空いている場合は、房尻側を切り上げ、軸長を調整するが、トウモロコシの輪切り状にならないように2回目のジベ処理前（なるべく早いうち）に行う。

(エ) 袋かけ前に、再度粒数の確認をする。

◆ぶどうの摘房・摘粒講習会開催について

下記日程により講習会を行います。都合の良い会場で受講してください。

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
6月16日	月	午前 9:00	萩原 久光様園（松代） ※	伊藤
		午前 9:30	安藤 周三様園（綿内）	寺澤
		午前 9:30	中村 奨様園 ※ （駐車は東部流通センター南側へ）	外谷
		午前10:00	小林 芳春様園（真島・梵天）	根津
		午前10:30	中村 忠勝様園（東条） ※	伊藤
		午前11:00	宮澤 文広 様園（綿内牛池）	寺澤
		午後 1:30	南澤 ひろ江様園（下石川）	徳武・外谷
			保科薬調集合（保科）伊藤様園	寺澤
6月17日	火	午後 3:00	宮寄 正一様園（塩崎）	徳武・外谷
		午前10:00	千野 しげ子様園（今井）	松橋

※印の会場では、後日シャインマスカットの摘粒講習会を別途開催致します。日時については上記講習会にてお知らせいたします。

◆種あり巨峰の摘房・摘粒について

1. 摘房は、結実が確認できしだい行う。特に弱樹勢樹は早急に実施する。
2. 結実不良果房を重点に摘房し、1新梢1房にする。
3. 仕上げは果粒軟化期までに行う。
4. 結実(着房)枝は80～150cm程度のものが望ましい。
5. 摘粒は15段・35粒を基本に、房形を整える。
6. 出荷形態に合わせ、目標とする房形に仕上げる。6kg出荷等握り房を目標にする場合は穂軸・肩の支梗が見えない円筒形とする。

◆種あり巨峰の新梢かき取りと誘引について

1. 混み合っている部分を手直しし、徒長的で結実の悪い新梢をかき取り、結実良好なものをムラなく残して棚面の明るさを確保する。
2. 棚面の明るさは7月下旬に棚下から30%位、空が見える程度が良い。
3. 副梢は基部から着房位置までのものはかき取る。

◆種あり巨峰で棚下に下げた枝の処理について

1. 棚下に下げた枝の量は10～20%位なので、実止まり決定時(6月下旬)に切り落とす。
2. ウイルスフリー樹等、樹勢の強い園で半分近く棚下におろした場合。
 - ①一度に切除せず段階的(2～3回位に分けて)に棚下の新梢数を減らす。
 - ②最初新梢をかきとり、そのあと種枝を切除するなど棚上とのバランスを崩さないようにする。
 - ③下げた枝の切除は樹の先端部よりのものから行い、遅くとも7月初めまでに実施する。
切り口へトップジンMペーストを塗布し保護する。

◆種あり巨峰の無核果(単為結果)対策について

1. 満開後15日(落花後10日)頃、有核・無核の判定(判断)を行う。

①果房を指で軽くはじいて不受精果等がかなり落ちるようだとよい。

②あまり落果せずぎっしり着粒している場合は無核果と判断。

発生が多い場合は早急にジベレリンにフルメットを加用し浸漬処理を行う。

2. 処理時期

満開後10～15日後
(有核・無核の判断ができしだい早急に行う)

3. 処理濃度

ジベレリン25ppm＋フルメット5ppm加用

水2ℓにジベレリン錠剤2錠(25mg)＋フルメット1本(10ml)

※出荷は「ジベ巨峰」で出荷になります。「種なし」では出荷できません。

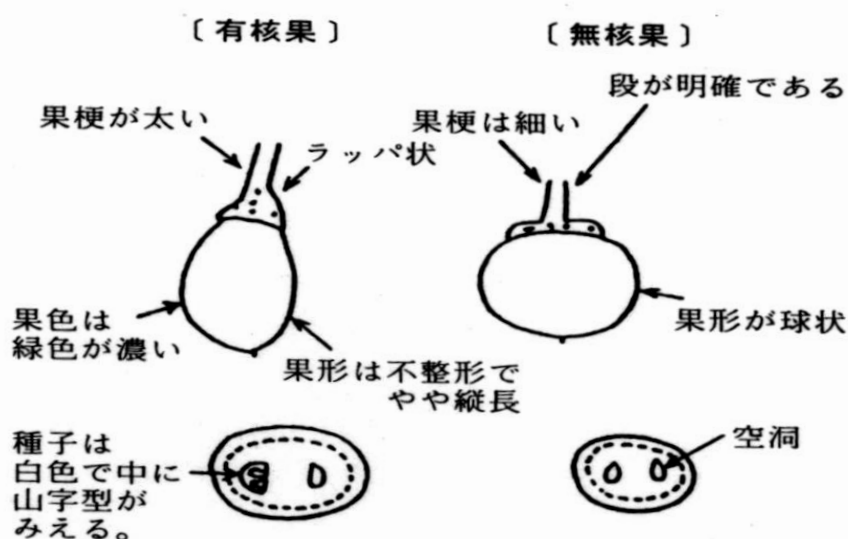


図5-11 単為結果の見分け方

4. 処理方法・・・果房浸漬処理(大きいコップを使用する)

※有核・無核の判断や詳しい対応方法は果樹技術員にご相談ください。

◆ロザリオビアンコの当面の管理について

房切り 開花始め～満開期。花穂の長さ 7 cm 目標とする房重 550 g

摘房 ジベレリン処理前に行う。 550g 房の場合は 9～10 房／坪

ジベ処理 満開 15～20 日後（果粒横径 9～10 mm 前後）

ジベレリン 25 ppm 水 1 リットル + ジベレリン錠剤 1 錠

摘粒 満開 15 日後頃から 550 g 房：軸長 9.5～10 cm。16 段程度。

※詳しい資料は各流通センターに用意してあります。